

# まちづくりネットワーク

## いわた市民活動センター

愛称 **のっぽ：NOPPO**

移転オープン

平成12年9月より、中央町で市民活動の拠点として親しまれてきた磐田NPO交流センターは、新たに磐田市豊田支所内1階へ移転しました。これを契機に名称もいわた市民活動センター、愛称のっぽ(Noppo)となりました。

### 新たな門出

6月1日渡部市長をはじめ、市役所の関係職員と磐田NPO活動推進協議会(以下協議会)の会員約50名の参加により開所式を行いました。



新しい看板が市長から手渡して...

### 親しみやすい

センターへ



これからのセンターは...

これまで「NPO」「交流センター」ということばがよくわかってきませんでした。本来の目的である市民活動の拠点であることから、わかりやすい名前に変更しました。愛称も公募し、多数の中から、NPOの文字と開かれたという意味のOPENからOPをかけて合わせて、NOPPO(のっぽ)に決定いたしました。



市民の皆さんに開かれたセンターでありたいという願いと、「のっぽ」にかけて、市民活動団体のグループが大きく成長していく意味も込められています。

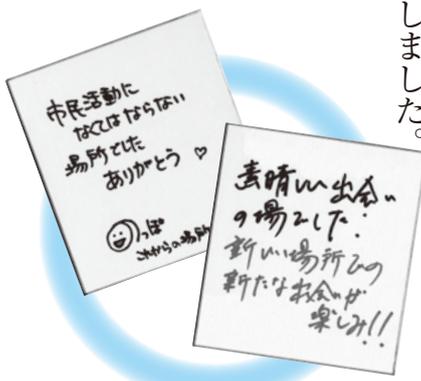
新たな活動拠点として、皆さんもぜひお立ち寄りください。

### ありがとう

NPO交流センター

耐震性の問題から、磐田税務署北側にあった磐田NPO交流センターは、取り壊しとなり、平成21年度協議会総会后、センター感謝の会を開催しました。

労働会館としての役目を終えた建物を、平成12年にNPO交流センターとして開所以来、多くの市民活動団体に利用されてきたセンターに、これまでの思いを各々が色紙に託しました。



### 視察研修

新たな活動拠点としての展開へ  
・富士市民活動センター  
・NPO法人東海道・吉原宿

7月6日富士市民活動センターへ行ってきました。

どのようなセンターが利用されやすく、また管理運営、事業の面でも参考になればと、これまでも県内外の市民活動センターの視察を開催しています。



本年度は指定管理者制度の研究のため、富士市を選びました。すでにまちづくりNPOとして、中心市街地の活性化などの事業を実践してきたNPO法人東海道・吉原宿が、新たな指定管理者として活動しています。利用者会議から、センター管理NPOへと展開する形と違って、若いリーダーが、まちの賑わいと中間支援を結びつけた新しい形のセンターを感じました。

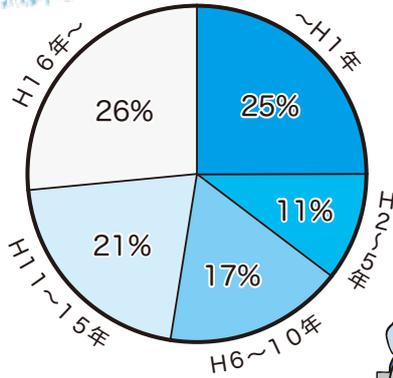
# 1 団体やグループについて お聞きします

市民活動団体・ボランティアグループ

# アンケート調

～平成20年度 ネットワ

## (1) できたのは、いつですか？



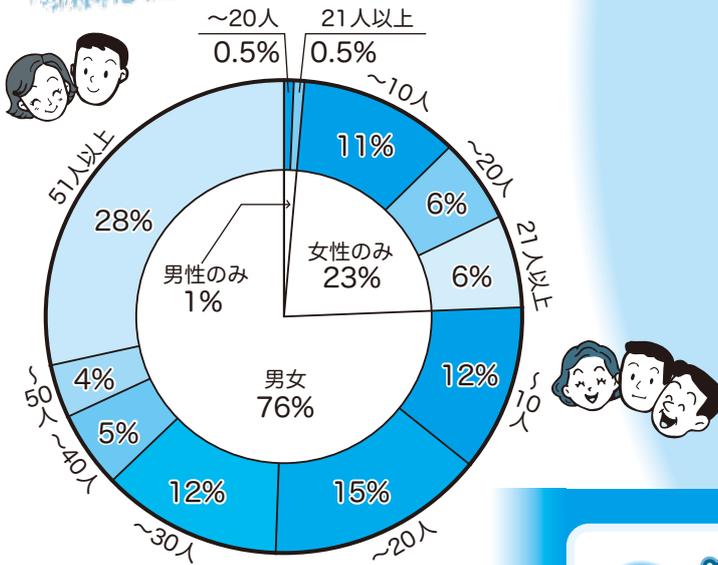
昨年秋、市内の団体やグループへ実態調査を実施しました。ご協力ありがとうございました。ここでは、代表的な設問を紹介します。

依頼数	回答数	回答率
283 団体	161 団体	56.9%

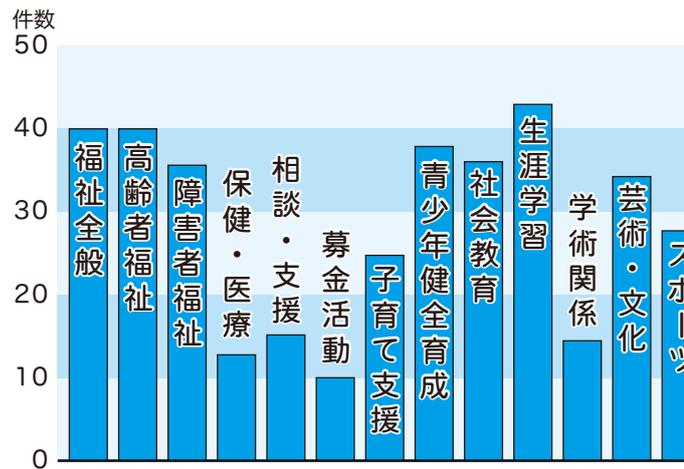
## (2) そのきっかけは？

- ・子どもを取りまく環境の変化
- ・障害者支援の必要性
- ・環境保全を考え、他団体と協力したいため
- ・スポーツの振興
- ・文化財の保存と活用 など

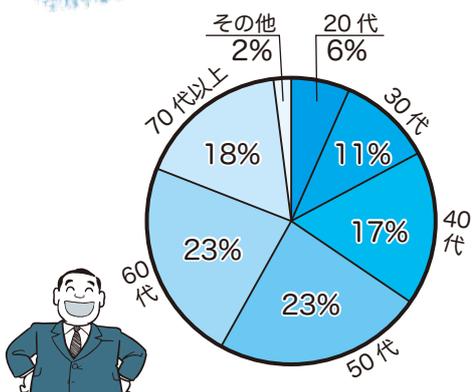
## (3) 会員数は、どのくらいですか？



## (5) 活動内容はどう



## (4) 会員の年代は？



# 2 協働のまちづくりについて ご意見や感想をお聞かせ下さい

- ・PR 不足で知らない人が多いと思う。自分たちの活動とどのように関係するのかわからない。
- ・「協働」という“丸投げ”はやめてほしい。
- ・みんなに広めて磐田らしい協働のまちづくりをすすめてほしい。
- ・協働することはとても大切だと思う。そのための情報公開や参加しやすい流れを作ることが必要である。
- ・市民の力で市民同士が手をつなぐことや行政などとの協力をすすめられることを探していきたい。
- ・具体的な場面を紹介しながら、市民や団体、企業などへの理解をすすめてほしい。
- ・協働コーディネーターの育成が急務である。 など

# 調査しました!!

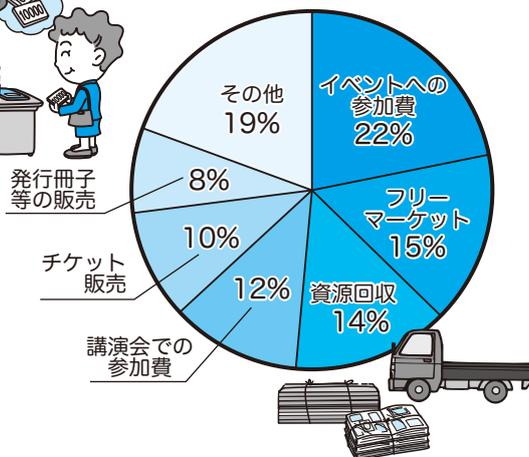
## マーケティング事業 (市委託) ~

### (6) 活動資金はどのようにしていますか?

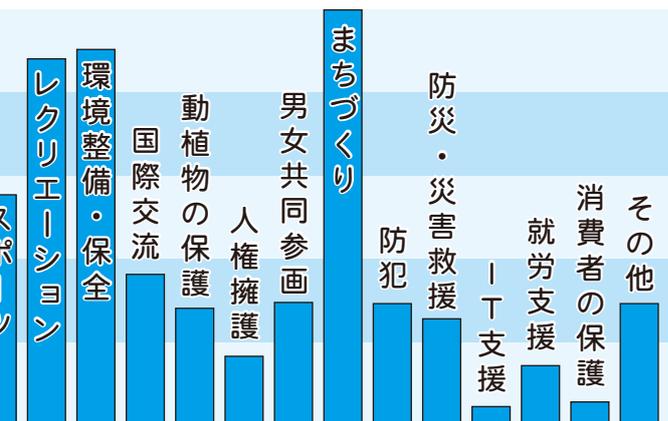
種別	あり(%)	なし(%)	全体(%)
会費	25	11	36
寄付金	9	19	28
助成金・補助金など	26	10	36
全体	60	40	100

これまで活動を積み重ねてきた方々が、さらに活発に活動し、地域の力となるためには、さまざまな情報を相互に収集・発信し、ネットワークを構築していくことが大切ではないでしょうか?今後の皆様の活動のヒントになれば...と思います。

### (7) 活動資金を調達するために自主的な事業を行っていますか?



### ですか? (複数回答)

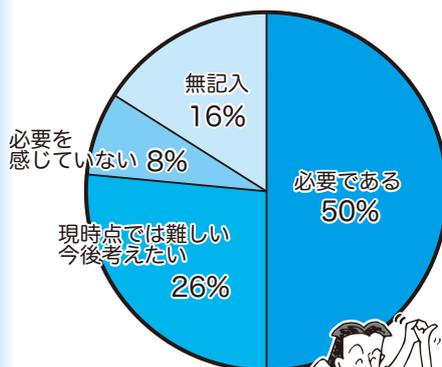


### (8) 現在、問題や課題がありますか?

- ・高齢化などによる活動への参加者の減少
- ・活動メンバーのマンパワー不足 (広報・事務など)
- ・活動趣旨の浸透のもどかしさ
- ・多くの人とのネットワーク作り
- ・資金不足 など



### (9) 類似・関連した団体との交流や一緒に活動することについてはどうですか?



## 3 アンケートの結果を受けて

このアンケート調査は一昨年行政に対して行い、昨年は市民活動を実践する皆さんに向けて実施しました。この調査により、日ごろから活動している団体の構成状況や困っている点など、それぞれの想いを感じることができました。

自らの活動の情報発信と、他団体の様子を知る事ができる情報収集の場、また団体相互の出会いの場・交流の場としての役割などが求められていることも明確になりました。あらためて市民活動の拠点、求められるさまざまな場としての必要性を感じています。

今後は、市民として「協働」を意識しながらさらなるネットワークをめざし、皆様のよりよい活動のサポートができるようセンターとしての役割を確立していきたいと思えます。

# 協働のまちづくりニュース Vol.1

本年4月1日より「協働のまちづくり推進条例」が施行されました。これにより磐田市における協働への考え方が、明確に広く共有されるものと期待しています。

「協働」とは、目的ではなく、住んで良かったと思えるまちをつくるという共通の目標を達成するためのひとつの手段なのです。

## 協働のまちづくり 提案事業

この事業は、協働のモデル的提案を募集し、その中から地域課題を解決するにふさわしい事業を選び、提案した団体と市が協働委託契約により、事業を実施していく制度です。

6月20日に提案審査会が開催され、本年度の採用団体が決定しましたので紹介します。



### ① 外国人の就労に向けて「いわしんバモス日本語！」

いわしんバモス日本語！  
南御厨実行委員会

外国人労働者への支援として、就労のために必要不可欠なスキルである「日本語」の習得に向け

た講座を、地域住民・関係団体、企業が一体となり開講する。



在住外国人のみなさんががんばってます！

### ② 感じる・つながる・人・自然 「エコノワ vol.3」

NPO法人 マリンプロジェクト

「感じる・つながる・人・自然」を合い言葉に、環境保護活動に取り組む多くの団体・企業・個人・行政の活動報告を集めPR。

今之浦公園でフリーマーケット・エコブース展示などエコ



エコノワ 廃油も回収してます！

活動が集結する「エコノワ」を開催する。

### ③ モデルCAP ワークショップ

CAP倶楽部

子ども自身がさまざまな暴力から身を守り、自分も人も大切にできる力を養う。子どもを取りまく大人たちもつながり支え合える環境を整えるため、CAPプログラムを提供し、ワークショップを開催する。



CAP子どもプログラムの一場面

### ④ みんなの学校 in IWATA

東海福祉専門学校

保育・介護福祉の観点

から、介護について啓発活動、子育てをしている方のリフレッシュ、世代間交流イベントなどの活動を複合的に集約した福祉イベントを年2回開催する。

### ⑤ 1/4の奇跡〜本当のことだから〜上映

しあわせクラブ

ドキュメンタリー映画「1/4の奇跡〜本当のことだから〜」の上映を通して、誰にも「生きる」という意味があり、一人ひとりが大切な存在であることを伝えていく。そして、同じ想いを抱いた仲間をネットワーキ化し「しあわせ」や「感動」の輪を街中に広げていく。

### ⑥ 「脳いきいき」事業

いまから元気だ

NPO法人 いきいきいわた 最先端の早期認知症研究の講義のほか、セルフチェック体験で、自分の今をつかみ、予防に役立つ「脳いきいき講座」を年3回開催する。

## 編集後記

旧センターは、移転する前に強風と大雨で屋根の防水シートが吹っ飛び2階は水浸しになりました。まさに危機一髪、タイムリーな引越でした。

新センターには今まで使っていたたくさんの机、椅子、棚などの備品が運びこまれました。今はその備品が昔からそこにあったかのように配置されています。花や植木までもが心地よさそうです。

まさに市民活動拠点のオアシスです。ぜひ一度足をお運びください。



(姫ひまわり)

- いわた市民活動センター通信 第25号 平成21年8月1日発行
- 編集・発行／磐田NPO活動推進協議会  
〒438-0832 磐田市森岡150 磐田市豊田支所内  
TEL・FAX (0538) 36-1890  
E-mail:iwata-npo@za.tnc.ne.jp
- 監修／磐田市総務部自治振興課市民協働推進係  
〒438-8650 磐田市国府台3-1  
TEL(0538) 37-4710  
印刷所／中央印刷有限会社